

和紙美濃
コウゾ研究 理解深める
栽培や保存 美濃市で発表会

美濃市前野の県産業技術センター紙業部で22日、和紙美濃に関する研究発表会が開かれ、原料の安定供給などに向けた研究成果が報告された。

同センターが主催し、紙業関係者ら約30人が参加した。和紙の原料となるコウゾの品質評価に関する検証結果や、トロアオイの保存方法について調査した研究などの成果発表があった。

コウゾの栽培と管理技術の開発に関する県森林研究所の発表では、「畑を新設する場合には水田跡地や粘土下部の傾斜地や砂質、質の土壌など水はけの悪い場所を避け、山麓がある」と指摘した。

また九州大学院農学研究院環境農学部門の北岡卓也教授が「紙の伝統と革新」を演題として講演した。

（古田浩康）



研究成果の発表に耳を傾ける参加者。美濃市前野、県産業技術センター紙業部

岐阜県森林研究所ホームページ掲載期限：平成32年3月11日
この記事は岐阜新聞社の許可を得て掲載しています。